


**川口市 芝第2・第5地区 まちづくり勉強会
平成24年度 第5回勉強会 議事録**

日時・会場	平成24年12月9日(日) 13:30~15:30 川口市 芝市民ホール
出席者	勉強会委員：13名
	川口市職員：3名
	まちづくり専門家：6名
進行概要 (プログラム)	STEP1. 開会 STEP2. 第4回勉強会のおさらい STEP3. まちづくりの方向性と取り組むべき整備の水準について STEP4. 質疑応答 STEP5. 閉会
配付資料	芝第2・第5地区 第5回まちづくり勉強会 プログラム 資料1 芝第2・第5地区 第4回まちづくり勉強会議事録 資料2 住環境について(スライド資料)
議事概要	
STEP1. 開会	
<p>司会より今日の流れの確認</p> <p>区画整理課長補佐より挨拶</p> <p>皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、『第5回まちづくり勉強会』にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>一昨日の地震では、私共も庁舎に残り、特に被害等の報告はありませんでしたが、改めて災害時における道路、あるいは公園の重要性について、再認識したところでございます。</p> <p>本日の勉強会では前回に引き続き、中長期で解決出来そうな課題の解決に向けた、骨格道路・公園のあり方について検討していただいた後、新たに、『まちのルール』についてご議論をしていただきたいと思います。</p> <p>今年最後の勉強会になりますが、皆さんには充分なご議論の程、よろしくお願い致します。</p>	
	
勉強会風景	
STEP2. 第4回勉強会のおさらい	
<p>第4回勉強会のおさらい</p> <p>平成24年9月9日に行われた『第4回まちづくり勉強会』の内容について、議事録(資料1)をもとに、おさらいをしました。</p>	

STEP3 .まちづくりの方向性と取り組むべき整備の水準について

骨格道路と公園の検討 その2

骨格道路について

前回の勉強会で検討した「骨格道路の位置や幅員、線形」について、その検討結果をまとめた図面をもとに、引き続き検討を行いました。再検討の視点は、以下の4項目です。(検討結果は、P5以降参照。)

【再検討の視点】

- (1) 骨格道路の配置はこれでよいか
- (2) 各班で配置が異なっている骨格道路について確認
- (3) 地区外の道路とのつながりを確認
- (4) 片側歩道の場合、つながりが保たれているか

公園について

公園の検討は、前回の勉強会の中で検討時間が短かったこともあり、再度検討を行うこととしました。(検討結果は、P5以降参照。)

今回は、当日の委員の皆様のお出席状況により、B～Eの4班で検討を行うことといたしました。



勉強会風景(B班)



勉強会風景(D班とE班)

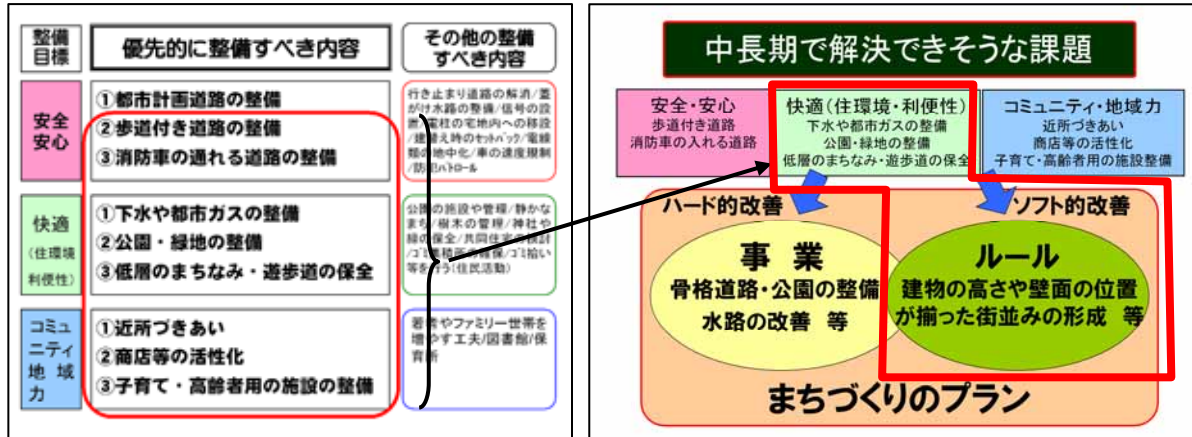


勉強会風景(C班とE班)

住環境に係わる中長期で解決できそうな課題

住宅環境について

これまで、中長期で解決できそうな課題の解決に向けて、骨格道路や公園について検討が進められてきました。今回は、住環境の改善に向けた「まちづくりのルール」について検討を進めました。



中長期で解決できそうな課題とその解決方法

始めに、まちづくりルールを考える上で、どのような点を重視するか考えていただきました。重視する視点としては、以下の7項目です。

【重視する視点】

建物の用途

良好な住環境の確保や商業環境の形成のため、建物の用途を制限する。

日当たりや採光、通風、建物の高さ

周囲の日当たりや採光、通風に配慮して、建物の高さをおさえる。

道路との間隔

道路沿いにゆとりある歩行空間を確保するため、建物は道路と間隔をあけて建てる。

敷地の分割

敷地が細分化され、建築物の建てづまりによる住環境の悪化及び火災の延焼を防ぐため、狭い敷地に分割しないようにする。

建物色・看板の大きさ

良好な環境を形成・保全するため、建物の色や看板の大きさ・色の範囲を示して、街並みを整える。

フェンス・生垣

地震時の倒壊の危険を減らし、防犯上の見通しの確保や緑化を推進するため、ブロック塀などを止めて、フェンスや生垣などにする。

燃えにくい建物

防災性の面から、燃えにくい建物に建て替えていく。

各班で、上記の7項目について、「必要」、「ある程度必要」、「あまり必要でない」、「必要でない」のいずれかに投票していただきました。

検討結果(B班～E班のまとめ)

項目	必要	ある程度必要	あまり必要でない	必要でない	意見
建物の用途	7	6			・内容がわからないと判断できない。 (全ての項目が対象)
日当たりや採光、通風、建物の高さ	13				・事前に定めないと後でもめると思う。 ・可能であれば、やった方が良い。 ・4階、5階が建てば日陰になる。
道路との間隔	4	9			・狭い敷地が多いので、間隔を空けるのが難しいのではないかと。
敷地の分割	6	4	3		・狭い敷地が多いので、これ以上分割して建てないのでは。
建物の色・看板の大きさ	10	3			
フェンス・生垣	10	3			・生け垣だと道路に枝が出る事もある。
燃えにくい建物	10	3			・費用がかかる。

各班で、各項目に対して一人一票ずつ投票した結果をまとめました。多くの項目で、住宅環境を改善する上で「必要」との意見が出されました。一方、道路との間隔と敷地の分割については、「必要」以外を選択された方も多くいました。芝第2・第5地区内には、狭い敷地の宅地が存在していることが影響しています。この結果を踏まえ、次回は、土地利用のあり方や建物の高さなど、芝第2・第5地区の将来像について皆様と考えていきたいと思えます。

発表

上記の検討について、発表を行っていただきました。(発表の概要は、P5以降参照。)

STEP4. 質疑応答

質疑応答を行いました。質疑応答の内容は、以下の通りです。

質問1： 道路の幅員の事例で、歩道内を歩行者、車椅子の方、自転車があるが、これで良いのか。歩道内を自転車が通る事は良いのか。

回答1： 自転車は、自転車と歩行者の幅員が確保されている自転車歩行者専用道路の場合に限り通行することができます。最近では、車道に自転車レーンを設ける場所もあります。この点については、勉強会の中で協議させていただきたいと思えます。

STEP5. 閉会

次回の第6回勉強会は、2月3日(日)を予定していることをお知らせし、閉会しました。本日はご参加頂きまして、ありがとうございました。

B班の検討結果



番号	検討結果
1	樋ノ爪小学校側に歩道を設ける。 滑らかにすると道路接続が難しくならないか。道路が広がってしまう。
2	クランクを真っ直ぐにしたらどうか。 十字路にする。信号を付ける。(信号だらけになってしまう。)
3	北側に歩道(小学校側)を設ける。
4	拡幅する際、建物がかからなくても、建築違反になってしまうかもしれない。
5	B班の周辺は公園が足りている。
6	市有地は、道路にかかる人のために、代替地とした方が良い。
7	地区外につながる道路整備にする。

住環境に関する7つの視点の評価結果

項目	必要	ある程度必要	あまり必要でない	必要でない	意見
建物の用途	3				
日当たりや採光、 通風、建物の高さ	3				・事前に定めないと後でもめると思う。
道路との間隔		3			・狭い敷地が多いので、間隔を空けるのが難しいのではないかと。
敷地の分割			3		・狭い敷地が多いので、これ以上分割して建てないのでは。
建物の色・看板の 大きさ		3			
フェンス・生垣		3			・生け垣だと道路に枝が出ることもある。
燃えにくい建物		3			・費用がかかる。

C 班の検討結果



番号	検討結果
1	片側に拡幅する計画があるのではないか。 元の指導している図面（土地区画整理事業の図面）があるのではないか、それを確認しないと判断できない。
2	どちらか片側に振る、又は公平性からセンター振り分け。 自転車を考慮した道路幅員。
3	ブロック塀がある事で（見通しが悪く）駐車場から出てくる車が危険。（急に出てくる事がある）
4	自転車が通れる位、広くする。（あと少し幅が広くなれば良い）
5	道路幅員に工夫が必要。（歩道 2.0m、車道 6.0m、歩道 3.0m）

住環境に関する7つの視点の評価結果

項目	必要	ある程度必要	あまり必要でない	必要でない	意見
建物の用途	2	1			
日当たりや採光、 通風、建物の高さ 道路との間隔	3				
敷地の分割		3			
建物の色・看板の 大きさ	3				
フェンス・生垣	3				・条件を付ける。
燃えにくい建物	3				

D班の検討結果



番号	検討結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・ D 班の該当する骨格道路の歩道の位置について検討した。 ・ E 班と検討が重なる南北への骨格道路は、短期的には、墓地東側の水路を活かす事を考えるが、交差点の改善と合わせて、歩道を確保する。

住環境に関する7つの視点の評価結果

項目	必要	ある程度必要	あまり必要でない	必要でない	意見
建物の用途		3			・内容がわからないと判断できない。 ・可能であれば、やった方が良い。
日当たりや採光、 通風、建物の高さ 道路との間隔	3				〃
敷地の分割		3			〃
敷地の分割	3				〃
建物の色・看板の 大きさ	3				〃
フェンス・生垣	3				〃
燃えにくい建物	3				〃

E班の検討結果

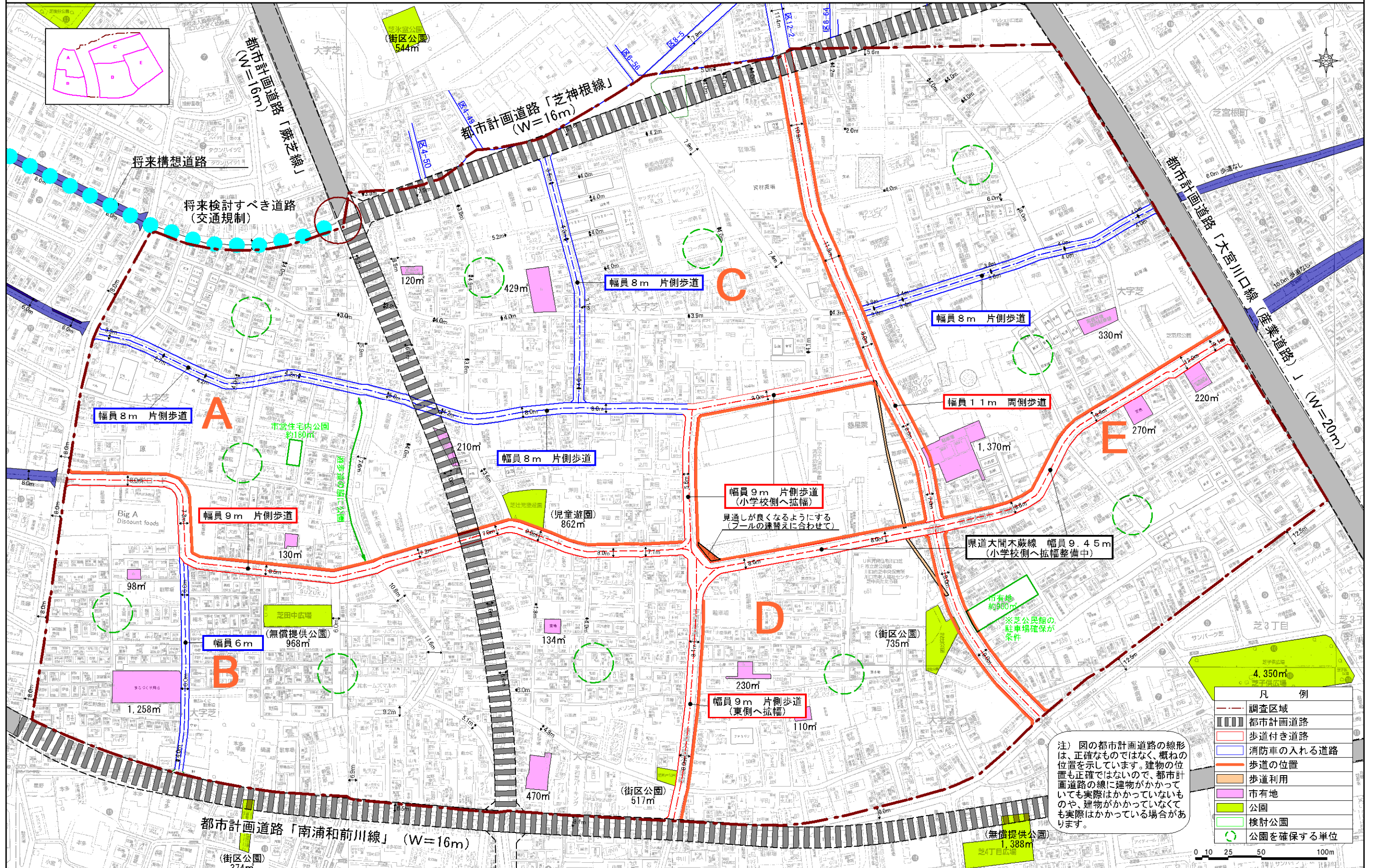


番号	検討結果
1	南浦和前川線を整備すると南北の骨格道路に交通量が増える。 ・南北に通る骨格道路は、交差点の改良を考慮すると、線形の検討も入れると良いのではないかと。

住環境に関する7つの視点の評価結果

項目	必要	ある程度必要	あまり必要でない	必要でない	意見
建物の用途	2	2			
日当たりや採光、 通風、建物の高さ 道路との間隔	4				・建物が4、5階が建てば日陰になる。
敷地の分割	3	1			
建物の色・看板の 大きさ	4				
フェンス・生垣	4				・管理が大変になるのではないかと。
燃えにくい建物	4				

■骨格道路と公園の検討結果（第5回勉強会の検討まとめ）



注) 図の都市計画道路の線形は、正確なものではなく、概ねの位置を示しています。建物の位置も正確ではないので、都市計画道路の線に建物がかかっているか、実際に建物が掛かっている場合もあります。

凡 例	
	調査区域
	都市計画道路
	歩道付き道路
	消防車の入れる道路
	歩道の位置
	歩道利用
	市有地
	公園
	検討公園
	公園を確保する単位